

## 平成18年度測定状況(速報値)

## 環境基準

		NO <sub>2</sub>	SPM
環境基準		1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
評価方法	長期的評価 (必要データ数は6000時間/年)	年間における1日平均値のうち、測定値の低い方から98%目に相当するもの(98%値)を環境基準と比較して評価する。(1時間値の1日平均値の年間98%値が、環境基準である0.06ppm以下であるか比較)	年間における1日平均値のうち、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した後の最高値(2%除外値)を環境基準と比較して評価する。(1時間値の1日平均値の2%除外値が、環境基準である0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であるか比較) ただし、1日平均値につき環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、環境基準に適合しないこととする。
	短期的評価		1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

- 注) 1. NO<sub>2</sub>の環境基準は「二酸化窒素に係る環境基準について」(S53.7.11環境庁告示第38号)「二酸化窒素に係る環境基準の改定について」(S53.7.1環大企第262号環境庁大気保全局長通知)による。  
2. SPMの環境基準は「大気汚染に係る環境基準について」(S48.5.8環境庁告示第25号)「大気汚染に係る環境基準について」(S48.6.12環大企第143号環境庁大気保全局長通知)による。

## 短期的評価

観測箇所	路線名	観測局	NO <sub>2</sub>		SPM			
					1日平均値の最高値 (単位: mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値 (単位: mg/m <sup>3</sup> )		
			H18	適否 (環境基準)	H18	適否 (環境基準)	H18	適否 (環境基準)
静岡市	国道1号	大岩			0.093	0.289	×	
	国道1号	七ツ新屋			0.070	0.145		
富士市	国道139号	伝法			0.110	×	0.296	×
沼津市	国道1号	大諏訪			0.112	×	0.311	×
	国道246号	岡一色			0.115	×	0.320	×
静岡市	国道52号	興津中町			0.079		0.124	

注) 環境基準を満足していない4局は4月の黄砂の影響によるものと考えられる。

## 測定結果のコメント

平成18年5月より、新たに1観測局(静岡市興津中町(国道52号))の測定を開始しました。

(興津中町局) 静岡市内の国道52号下り車線側の道路端に設置。

平成18年4月～8月の観測結果による短期的評価(速報値による評価)によると、全6局のうち2局で環境基準を満足している値となっています。

浮遊粒子状物質(SPM)の環境基準を満足していない4局は、いずれも4月の測定結果(速報値)が満足していない結果となっており、これは、黄砂の影響によるものと考えられます。

平成18年度測定状況（速報値）

月間測定値（速報値）

<大岩局>

二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）濃度測定結果

単位：ppm

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	0.057	0.030	0.019
5月	0.065	0.029	0.017
6月	0.069	0.032	0.020
7月	0.056	0.028	0.018
8月	0.057	0.022	0.014
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.069	0.032	0.018

浮遊粒子状物質（SPM）濃度測定結果

単位：mg/m<sup>3</sup>

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	0.289	0.093	0.033
5月	0.074	0.050	0.024
6月	0.104	0.062	0.037
7月	0.086	0.064	0.037
8月	0.092	0.066	0.036
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.289	0.093	0.033

<七ツ新屋局>

二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）濃度測定結果

単位：ppm

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	0.072	0.043	0.029
5月	0.064	0.038	0.024
6月	0.073	0.043	0.026
7月	0.053	0.032	0.022
8月	0.068	0.031	0.019
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.073	0.043	0.024

浮遊粒子状物質（SPM）濃度測定結果

単位：mg/m<sup>3</sup>

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	0.080	0.042	0.032
5月	0.142	0.061	0.029
6月	0.104	0.065	0.039
7月	0.128	0.063	0.038
8月	0.145	0.070	0.037
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.145	0.070	0.035

平成18年度測定状況（速報値）

< 伝法局 > : 平成17年度より観測開始

二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）濃度測定結果

単位：ppm

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	0.065	0.045	0.034
5月	0.069	0.052	0.031
6月	0.079	0.053	0.036
7月	0.074	0.047	0.030
8月	0.075	0.042	0.025
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.079	0.053	0.031

浮遊粒子状物質（SPM）濃度測定結果

単位：mg/m<sup>3</sup>

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	0.296	0.110	0.043
5月	0.110	0.067	0.034
6月	0.187	0.096	0.053
7月	0.141	0.088	0.051
8月	0.161	0.086	0.048
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.296	0.110	0.046

< 大諏訪局 > : 平成17年度より観測開始

二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）濃度測定結果

単位：ppm

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	0.084	0.059	0.038
5月	0.088	0.056	0.032
6月	0.091	0.055	0.037
7月	0.104	0.048	0.027
8月	0.083	0.043	0.027
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.104	0.059	0.032

浮遊粒子状物質（SPM）濃度測定結果

単位：mg/m<sup>3</sup>

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	0.311	0.112	0.047
5月	0.088	0.066	0.036
6月	0.120	0.079	0.050
7月	0.119	0.080	0.045
8月	0.135	0.082	0.049
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.311	0.112	0.045

平成18年度測定状況（速報値）

< 岡一色局 > : 平成17年度（12月）より観測開始

二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）濃度測定結果

単位：ppm

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	0.083	0.054	0.037
5月	0.087	0.055	0.032
6月	0.096	0.059	0.041
7月	0.112	0.069	0.036
8月	0.086	0.049	0.029
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.112	0.069	0.035

浮遊粒子状物質（SPM）濃度測定結果

単位：mg/m<sup>3</sup>

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	0.320	0.115	0.042
5月	0.122	0.072	0.034
6月	0.148	0.089	0.049
7月	0.120	0.095	0.046
8月	0.135	0.078	0.045
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.320	0.115	0.043

< 興津中町局 > : 平成18年度（5月）より観測開始

二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）濃度測定結果

単位：ppm

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	-	-	-
5月	0.062	0.035	0.025
6月	0.075	0.042	0.028
7月	0.069	0.040	0.027
8月	0.057	0.032	0.019
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.075	0.042	0.025

浮遊粒子状物質（SPM）濃度測定結果

単位：mg/m<sup>3</sup>

測定月	1時間値 の最高値	日平均値 の最高値	月平均値
H.18.4月	-	-	-
5月	0.115	0.070	0.031
6月	0.118	0.079	0.045
7月	0.124	0.072	0.044
8月	0.108	0.070	0.041
9月			
10月			
11月			
12月			
H.19.1月			
2月			
3月			
最高値 または 平均値	0.124	0.079	0.040

## 平成18年度測定状況（速報値）

平成18年4月は、浮遊粒子状物質（SPM）の短期的評価（速報値による評価）による環境基準を満足していませんでした。

浮遊粒子状物質（SPM）の経時変化（浮遊粒子状物質（SPM）濃度の4月測定結果（速報値））をみると、特に4月8日～9日にかけて高く、これは、道路沿道に設置している自動車排出ガスを監視する大気常時観測局のほか、環境省および地方自治体が大気汚染の状況を監視するために設置している測定局でも同じ傾向がみられました。

この原因として、4月8日～9日は東日本～西日本にかけて黄砂が観測されていた（黄砂に関する気象情報）ことから、4月の浮遊粒子状物質（SPM）が高いのは自動車排出ガスによる影響ではなく、特に4月8日～9日に観測された黄砂の影響によるものと考えられます。

### 浮遊粒子状物質（SPM）濃度の4月測定結果（速報値）

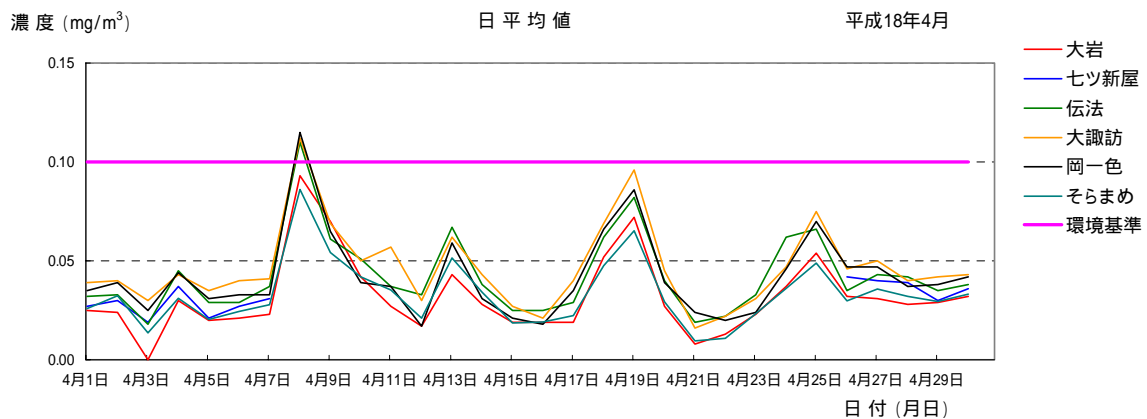
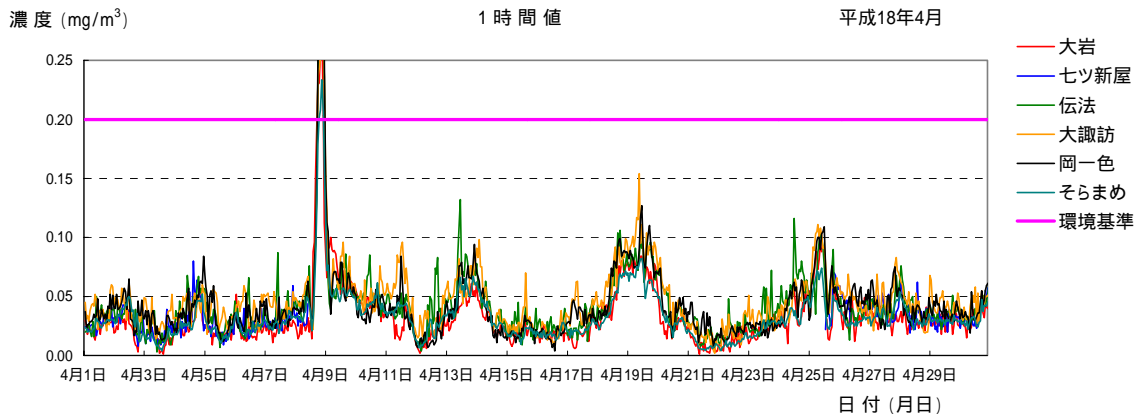
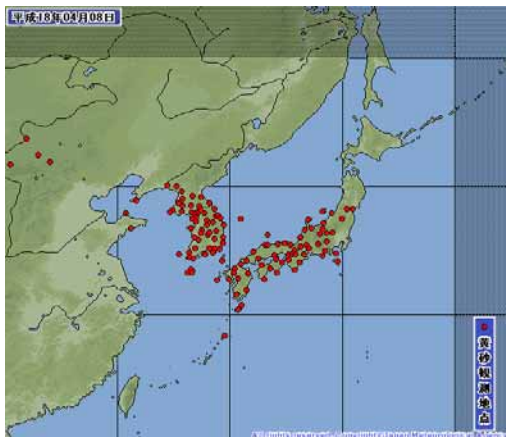


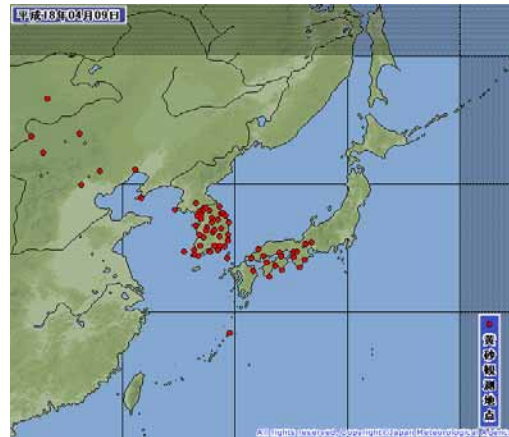
図 浮遊粒子状物質（SPM）の経時変化

注）そらまめ：環境省大気汚染物質広域監視システムの変称  
比較しているデータは、静岡県道事務所稼働の大気常時観測局周辺の15の測定局のデータを平均した値

### 黄砂に関する気象情報



平成18年4月8日



平成18年4月9日

資料：気象庁ホームページより